



N響コンサート R7.2.21 留学生の声

日本に来る前からN響の演奏が好きでした。今日の演奏はまさに圧巻で、初めて日本でコンサートに参加できたことも相まって、心から感動しました。

プロ奏者にとって、マニアックな曲を演奏する機会がその職業柄から少なく、音楽家の課題の一つになっている。パフォーマンスの場に皆さんが足を運び、音楽を楽しみ、演奏家をはじめとして、音楽家の幸せを意識できるようになれば、もっと音楽文化の価値を意識できる社会となれば、今日のような生音を聴く機会を広げる意味があると思います。

I enjoyed the programme a lot as it had well known pieces as well as less known ones. It was also good to meet other international students. The view was very good and the whole experience was very immersive.

観客が最後の音が消えるまで静かに耳を傾ける姿勢や、終演後の温かい拍手から、日本ならではの音楽文化を強く感じました。外国人として、日本でのコンサートは単なる音楽体験ではなく、日本の文化や美意識に触れる貴重な機会となりました。



N響コンサート R7.2.21 留学生の声

今回のプログラムは、どの曲も親しみやすく、華やかで楽しい内容だった。特にスッペの序曲は勢いがあり、演奏の迫力を感じた。最後の「パリの喜び」は、まさに楽しい曲で、リズムが軽快で聴いているだけでワクワクした。オーケストラの演奏も生き生きしていて、会場全体が明るい雰囲気になれていた。全体を通して、楽しい音楽がたくさん詰まったコンサートだった。

視界がとても良い席だったので、ステージ上の皆さんの姿をはっきりと見ることができました。指揮者が全力で指揮する姿や、演奏者の方々の演奏にとっても感動しました。さらに、馴染みのある曲が演奏されたときは、思わず嬉しくなりました。このような機会に恵まれ、NHKホールで素晴らしい夜を過ごすことができ、本当に幸せでした。ありがとうございました。

子どもの頃からバイオリンを習っていたので、オーケストラの生演奏を聴くのはとても特別な体験でした。特に心を打たれたのは、弦楽器セクションのボウイングの美しさです。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの弓が、まるで一つの生き物のように完璧に揃い、音楽に命を吹き込んでいました。その一体感を目の当たりにしたとき、胸が熱くなり、思わず涙がこぼれそうになりました。音楽は、言葉を超えて心に響くものです。今回の演奏会を通じて、オーケストラの魅力を改めて実感しました。



会場には国籍や年齢、性別を問わず多くの人々が集まり、音楽を楽しんでいました。その様子を見て、クラシック音楽は時代を超えて誰もが楽しめる文化なのだと改めて感じました。